

## 重点分野

### 子育て・健康・福祉

まず、子育てに関するものとなりますが、町立保育園・幼稚園に対して実施していた作業療法士の巡回訪問を、新たに町内の私立保育園・幼稚園にまで拡大することで、発達障がいや虐待の可能性を早期発見し、ケースに応じた適切なサービスにつながられるようにしてまいります。

また、ヤングケアラーに関するチラシを新たに作成し、町内の小学生から高校生に配布することで、ヤングケアラーについての理解を深めるための啓発をしてまいります。

また、これまでの3か月児健診よりも前の段階である1か月児健診に対する新たな助成を開始することで、発育状況の早期把握、個々の発育状況に応じた支援につなげるものでございます。

次に、健康・福祉に関するものとなりますが、令和7年度に

消費拡大を図ります。



第1回杉戸町商工祭

### 道路・都市基盤

次に、都市基盤・環境に関するものとなりますが、杉戸高野台駅西口駅前広場につきましては、カーアスファルトを利用した歩道の全面舗装補修を2力年に分けて実施し、利用者の安全確保につなげてまいります。

また、安全な道路環境を確保するため、杉戸1丁目地内の町道Ⅱ級20号線などの舗装補修、大字才羽地内の町道Ⅰ級11号

予定されている手話言語条例の制定に合わせて記念イベントを実施するほか、障がいのある方など歩行が困難な方の駐車区画の適正利用を促進するため、主要な公共施設に案内看板を設置し、障がいや障がい者に対する理解を深めてまいります。

また、成年後見が必要となつた方に適切な支援ができるよう、成年後見制度利用促進協議会や成年後見中核機関を新たに設置してまいります。

そして、医療に関するものとしましては、特に高齢者を中心に激しい痛みや痒みを引き起こすおそれのある帯状疱疹について、ワクチンの定期接種が始まりますので、遅滞なく開始するとともに、がん患者が自分らしく日常生活を送ることがするための支援として、ウィッグや胸部補正具といったアピアランスケア用品の助成を新たに実施してまいります。

そのほか、第2期健康増進計画・食育推進計画策定の準備としてアンケート調査を実施し、同調査の中で、地域医療体制や病院誘致に関するニーズ調査

線上にある44号橋の補修工事を実施するほか、杉戸南中学校の通学路安全対策として、大字堤根地内の町道Ⅱ級10号線道路改良工事を実施してまいります。

また、町の交通網整備として、東武動物公園駅東口通り線については、道路整備事業を継続するとともに、周辺地区を官民連携で有効活用していくための事業を進めるほか、都市計画道路下野久喜線については、令和6年度に着手できなかった詳細設計を改めて実施してまいります。

また、南側水路につきましては、大字下高野地内の危険個所の改修工事の準備として、設計等を実施するほか、同じく大字下高野地内において水の滞留を防ぐための補修工事を実施してまいります。

### 環境

次に、環境に関するものとしましては、クビアカツヤカミキリによる樹木被害拡大防止策を実施することで、町内の緑の環境の保全に努めるとともに、町的生活環境保持のため、生活

を実施してまいります。

また、高齢者の生きがいづくりとして、引き続き、敬老祝いの品の贈呈や、シニアサロン、老人クラブ活動への支援を実施してまいります。

### 教育

まず、学校教育に関するものとなりますが、今年4月、町にとつて高野台小学校以来の新生校である杉戸南中学校が誕生しました。そこで、生徒の安全な登下校に向けて、通学路の整備やスクールバスの運行により、教育環境の充実に努めてまいります。

また、児童・生徒1人1台のタブレット端末を全面的に更新し、最新のものとすることで、ICTを活用した授業をさらに推進し、未来につながる資質・能力を育成してまいります。

また、少人数支援室を拡充し、これまでの杉戸第二小学校、杉戸小学校、杉戸中学校に加え、杉戸南中学校にも新たに設置し、児童・生徒一人ひとりに寄り添った学習環境を推進してまいります。

更に、育ち盛りの子どもたちに質と量の充実した給食を提供するため、杉戸農業高等学校との包括連携協定による学校給食の地産地消を推進するほか、賄材料費の物価高騰分の公費負担を継続し、教育に係る保護者の経済的負担の軽減に努めます。また、第3子以降の児童・生徒の給食費については、対象児童に対し、申請不要の免除方式へ制度を変更し、保護者の手続きの負担を軽減してまいります。

次に、社会教育に関するもの

となりますが、図書館の館内環境の改善のため、図書館部分の空調設備の改修を実施してまいります。また、図書館が開館20周年を迎え、図書館まつりも20回目となることから、特別講演を企画した図書館まつりを開催するほか、引き続き、ブックスタート事業、図書バッグ及び図書館利用カードプレゼント事業などを実施し、図書館の魅力向上に努めてまいります。

また、文化財に対する知識や関心を深めるため、引き続き、文化財や歴史に関する講演会を実施するとともに、文化財特別展示を実施してまいります。

罪の予防のため、道路の路面表示の修繕、防犯灯の維持管理、そして道路照明灯のLED化を推進してまいります。

また、快適な住環境・生活環境の確保により、町民が安心して暮らせるようにするために、従来の耐震診断及び耐震改修工事の助成制度に代わって、新たに住宅リフォーム工事の助成を実施するほか、相続人のいない空き家について、相続財産清算人の活用により、空き家の解消を図るなど、空き家対策を推進してまいります。

### その他の重点事項

まず、行財政運営に関するものとなりますが、令和7年度で計画期間満了となる第6次杉戸町総合振興計画の前期基本計画に引き続きものとして、後期基本計画を策定してまいります。

また、将来の有権者となる若者に対して選挙に関する興味や関心を持つてもらえるよう、実際の投票用紙や投票箱を使用した投票を予定するなど、小・中学校の児童・生徒に向けた選挙啓発事業を実施してま

### 産業

次に、産業に関するものとなりますが、アグリパークゆめすぎとは、開園から20年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、施設の老朽化対策として、屋根・外壁等の改修を行うことで、来場者の安全を確保するとともに、更なる魅力の向上につなげてまいります。

また、地元企業応援事業として、小規模事業者経営改善資金の利子補給や、事業承継に取り組む事業者の支援のため、ビジネスパワーアップ事業の拡充を行うとともに、創業支援事業として、空き家や空き店舗を活用した事業者に対する支援のほか、創業支援強化事業や創業塾を引き続き実施してまいります。

また、「農業祭」や「商工祭」を引き続き開催し、町の農業、商工業の魅力を町内外にPRしてまいります。特に、農業祭においては、(仮称)東日本ご当地そば祭りを同時開催し、杉戸産そばの提供を行い、おいしさや魅力を観光資源として発信するとともに、杉戸産そばの

います。

また、議会だよりのカラーページ数を増やすことにより、誰もが読みやすく、また、興味を持つていただけるような掲載内容への刷新を図り、思わず手に取って読みたいくなる議会だよりを目指してまいります。

次に、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進として、コンビニ等に設置されているマルチコピー機において、現在、マイナンバーカードを活用して、住民戸籍関係の証明書の交付ができるようになっていますが、これに加えて、新たに税関係の証明書の交付ができるようにします。

その他、GIS機能を持ったデジタル住宅地図を導入することで、窓口での対応時間の短縮に努めるほか、介護認定審査会用として新たにタブレットを導入し、資料のペーパーレスやオンライン会議を実施することで、介護認定の円滑化に努めてまいります。